

謹賀新年



宜野湾市議会議員 呉屋 等 ごや ひとし



宜野湾市長 佐喜眞 淳 さきま あつし

新年 明けましておめでとうございます。
令和8年の新春を健やかにお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

市民の皆さまには、平素より、本市議会並びに市政に対しまして、格別の御支援と御協力を賜り、より活発な議会活動を推進できましたことに厚く御礼申し上げます。

昨年は、本市で春季キャンプを開催している横浜DeNAベイスターズが26年ぶりの日本一優勝パレードに始まり、沖縄尚学高校の夏の甲子園での優勝のニュースは、市民・県民にとりまして、たくさんの勇気と元気を与えてくれました。さらに、山口県岩国市との姉妹都市の提携を結びましたことは、これまでの文化教育及び経済、各分野での交流を通して、お互いを行き来した結果であり、今後も両市の友好関係がより一層発展していくことを願っております。

さて、本年は、日米両政府が米軍普天間飛行場の全面返還に合意して30年を迎えますが、その間、米軍普天間飛行場の返還に向けた進捗が見られず、市民は過重な基地負担を強いられている日々が続いております。普天間基地の返還を見据えたまちづくりを実現するため、引き続き日本政府に対し直接市民の声を届ける要請を行ってまいりたいと存じます。

また、本市議会においては、議会改革の一環として、議会基本条例に基づき、議会活動の報告を行う場として、昨年は10回目となる議会報告及び市民との意見交換会を実施いたしました。2会場にて開催し、直接市民の皆さまから御意見を伺うとともに、インターネットにおいても募集した御意見は合計130件となりました。この貴重な御意見を市政の課題として捉え、議会で調査や検証を行い、政策立案や市長への政策提言につなげてまいります。

本年は、市議会議員選挙の年でございます。議員一同、市民の代表として、皆さまの負託に応え、市政の発展のため尽くしていく決意を新たにしておりますので、なお一層の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が夢と希望に満ちあふれた素晴らしい一年となりますよう、皆さまの御健勝と御多幸を祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

令和8年 新春

輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本市政へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、市民の皆さまに、「宜野湾がいちばん」と感じていただけるよう全力で市政運営に取り組んでまいりました。

普天間飛行場は、1996年の日米両政府による返還合意から今年で30年が経過する今もなお、まちのど真ん中に存在し、本市最大の懸念事項であります。政府に対し、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と速やかな運用停止、返還までの間の危険性除去及び目に見える形での基地負担軽減、返還期日の早期確定や返還後の跡地開発などについて、市民を挙げて引き続き強力に求めてまいります。また、昨年設置された普天間飛行場の運用等に伴う宜野湾市の住民の生活環境等の保全の課題に関する協議会などで、目に見える形での基地負担軽減を国に対して求めてまいります。

本市では、昨年4月にこども部を設置し、教育委員会と連携しながらこども真ん中社会の実現に向け取り組みを推進しています。国や琉球大学と連携し、こどものウェルビーイングのための拠点づくりに向け取り組むとともに、こどもの学習・就労支援の拡充、高校生年代までの医療費の無償化、学校体育館等の空調整備など、こどもが健やかに心豊かに成長できる環境を整えてまいります。

本市の西海岸地域につきましては、宜野湾海浜公園や沖縄コンベンションセンター、宜野湾港マリーナ、大型商業施設などを一体的に捉えた都市型観光拠点化を進めるとともに、西海岸地域のグランドデザイン策定に取り組めます。また、今年は西海岸地域音楽活性化等推進事業として海浜公園内に屋外劇場が完成する予定でございます。さらに、今年度より本市の大山地区の開発計画にも着手しており、新たな魅力の創出を図ってまいります。

本年も、市民一人ひとりが幸せを感じられるような宜野湾市を職員一丸となって目指してまいりますので、市政運営に対するご理解とご協力を賜りますとともに、新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

令和8年 新春